

第 四 回 住 居 表 示 審 議 会 会 議 録

- 1 開催日時 平成27年11月20日(金)
午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 東海村役場205会議室
- 3 出席者 審議会委員 14名(敬称略)
寺門 喜八郎, 伊藤 良治, 佐藤 美智子, 松尾 ヒサ子, 木村 和宏, 大塚 茂,
瀧本 勝也, 猫塚 栄喜, 近藤 忠美, 岩崎 薫, 加藤 かおる, 菅田 千穂,
小林 一夫, 石上 イク子

事務局 4名
澤畑住民課長, 黒澤住民課長補佐, 豊嶋係長, 川崎主事(会議録作成)
- 4 欠席者 阿部 照子委員 1名
- 5 公開又は非公開の別 公開
- 6 議題 1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 議題
(1) 諮問事項の答申案(住居表示事業第6次地区の新町名)の決定について
4. その他
5. 閉会
- 7 配布資料 (資料) 第4回東海村住居表示審議会次第
- 8 発言内容
開会(午後2時)

澤畑課長 定刻となったので、ただ今から第四回東海村住居表示審議会を始める。阿部委員がお見えになっていないが、15名中14名の委員が出席しているので、当審議会は成立している。初めに寺門委員長、挨拶をお願いします。

寺門委員長 皆様、こんにちは。天気の良い中、お集まりいただき感謝する。今回で、4回目の住居表示審議会の開催となる。当初の予定では、3回目で意見を取り纏めることになっていたが、皆さんご承知のように、過日実施した住民アンケートの結果も踏まえて協議した「新舟石川一丁目・二丁目」について、もう一度委員の皆様方に周辺の方々の意見も聞いてもらった上で、最終的に審議会としての判断をしようということになっており、本日の開催となった。後程、それぞれの委員からご意見を伺い、審議会としての意見を取り纏めてい

きたいと思うので、よろしくお願ひしたい。私としては、全員一致が理想だと思うが、場合によっては多数決という考え方もあるのでご理解をお願ひしたい。それでは、事務局に戻す。

澤畑課長 次第の3. 議事録署名人の選出だが、たくさんの方に経験していただきたく、今回の審議会の議事録署名人について、事務局で推薦させていただきたい。一人は、東海交番署長の大塚委員、もう一名は、石上 イク子委員、お二人の方を議事録署名人としてお願ひしたいがよろしいか。

全委員 異議なし。

寺門委員長 よろしくお願ひしたい。

(1) 諮問事項の答申案（住居表示事業第6次地区の新町名）の決定について

澤畑課長 続いて、議題に入る。「諮問事項の答申案（住居表示事業第6次地区の新町名）の決定について」だが、今後の進行は、寺門委員長にお願ひする。

寺門委員長 では、課題になっていた「新舟石川一丁目・二丁目」について、周りの意見はどうだったか。全員に、一人ずつ聞いていきたい。

近藤委員 20人～30人に聞いた。「新舟石川」は、「何それ？」という感じだった。何で「新舟石川」が出てくるのかという意見だった。だいたいの人が、「舟石川一丁目・二丁目」がいいという意見だった。

澤畑課長 審議会としては、「新舟石川一丁目・二丁目」で提案しているが、駄目だということか。
近藤委員 誰も提案はしていない。この間の配布された文章は、もう「新」で決まったような言いではないか。

澤畑課長 第3回の審議会の時は、「新舟石川一丁目・二丁目」という案について、委員の皆様方が周辺の方々に意見を伺ってみるということになったはずだ。議事録はそうなっている。

近藤委員 提案を出したのは、伊藤副委員長と寺門委員長だけだ。他の委員は「新」をつけてくれという人は一人もいない。

澤畑課長 審議会として「新」でやりましようとなったはずではないか。周りの意見を聞かないでその場で「新舟石川一丁目・二丁目」と決めてしまうのは乱暴だから、もう一回審議会を開きましようとなったはずだ。

近藤委員 私は「新舟石川一丁目・二丁目」には反対だ。この間、事務局から送られてきた文書は、「新舟石川一丁目・二丁目」で決まったような言い方だった。

伊藤副委員長 「舟石川一丁目・二丁目」では、紛らわしいから駄目だとなった。だから新しい名前の「新舟石川一丁目・二丁目」を出した。

岩崎委員 私の周辺の方々は「舟石川一丁目・二丁目」がいいという意見だった。「新」は駄目だ。

加藤委員 かなりの人数に聞いたが、「何で今頃、そんな話が出てくるのか」という反応が多かった。せつかくアンケートで決まったのだから、「舟石川一丁目・二丁目」がいいという意見だった。どうしても駄目なら、「ふないしかわ」や「ふな石川」の平仮名にしてはどうかという意見だった。「新」は誰もいいとは言わなかった。

- 菅田委員 お母さん方を中心に聞いた。アンケートの結果で「舟石川一丁目・二丁目」が多かったが、それでは紛らわしいので、舟石川に「新」が付くという話をしたが、「新」が付くのであれば、長くても「舟石川駅西五丁目・六丁目」の方が良いという意見も何人かいた。
- 小林委員 「舟石川一丁目・二丁目」が紛らわしいので、「新」が付くという話をしたが、「新」が付くこと事態疑問だという意見だった。新町名がつくのであれば、元の「舟石川」のままがいいという意見が多数だった。
- 石上委員 30年、40年も住んでいて「新」が付くのは抵抗があるという方がたくさんいた。だったら、「舟石川一丁目・二丁目」の方が良いとのことだった。
- 澤畑課長 ここまでの話を整理すると、区域内の委員の皆さんは、「新舟石川一丁目・二丁目」は駄目だということか。
- 寺門委員長 関係機関の方の意見はどうか。
- 猫塚委員 企業として確認してきた。お客様を訪問する中で、住所がはっきりしたほうが良いし、「新舟石川」の方が、間違いが少なくなるのかなという話になった。
- 瀧本委員 この辺に居住していないので、住民の意思を反映すべきで、どちらとも言えない。最初の住民アンケートの意見を参考にすべきだ。駄目だというわけではないが△。
- 大塚委員 住民の意見を組みとった案にするためにも、アンケートで最も多かった「舟石川一丁目・二丁目」という意見を尊重すべきだ。
- 木村委員 どちらになっても郵便配達には支障はないが、住民の案を尊重すべきではないか。「新舟石川一丁目・二丁目」でも駄目ではないが、郵便局としては判断できない。
- 松尾委員 迷ってしまうが、何故、第3回目の審議会の時に、「新」を出したのかを考えてみると、「舟石川一丁目・二丁目」に戻るのはどうなのかという考えがある。「舟石川駅東」や「舟石川駅西」を決める時も、同じような意見がものすごくたくさん出たが、最終的に「舟石川駅西」、「舟石川駅東」で納まってくれたといういきさつがある。ここで、「舟石川一丁目・二丁目」になったら、「舟石川駅西」、「舟石川駅東」に決まった人たちがどんな気持ちになるかと思うと、最初から審議会に出ていた者としては、すごく複雑である。「新」が嫌だったら、3回目の審議会で一回出た「舟石川中（なか）」とか、別の名称をまた提案して、訳を話してもう一度皆さんにお話していただきたい。「舟石川一丁目・二丁目」については、私としては賛成できないので×で。
- 佐藤委員 松尾さんのおっしゃったとおりである。現在、住んでいる方の立場だったら「舟石川一丁目」が良いという気持ちはすごくわかるが、周りの皆さんに、何故「舟石川一丁目・二丁目」が問題になったのかを伝えていただきたかった。自分の住んでいる住所が単純でわかりやすい地名になるのが一番いいのは確かだと思うが、長くはなるが「舟石川」に何かをつけた方が、今までの流れや舟石川全体のことを考えるといいのではないかな。
- 松尾委員 これだけ反対が多ければ「新」は無理でしょう。「舟石川」に何かをつけてみますか。
- 伊藤副委員長 「舟石川一丁目・二丁目」が圧倒的に多数でいいと思ったが、駄目だとなったので、別な案でどうかとなり、いろいろ考えたが、「新舟石川」しかないみたいだと周りに言ったら、あまり抵抗はなかった。ある人は、字数をとにかく一字でも減らしてほしいということで、「新舟石」にしてくれという案も出た。

なぜ、前回「舟石川一丁目・二丁目」ですんなり決まらなかったのか。理由をはっきりしないと、どうしようもない。

近藤委員 参考資料だから、アンケート結果にこだわらなくてもいいと事務局が言ったから話がおかしくなってしまった。

澤畑課長 確かに言った。アンケートに出たのが絶対だとは言えないということだ。

近藤委員 アンケート結果は、重要視しなければならない。アンケートの結果をそのままにしたら、問題は起きないはず。

澤畑課長 アンケートがあったから、これだけ揉めている。

近藤委員 「何か問題があるか」となって何か問題がありそうだから、伊藤さんが「新」でも付けようと言った。

伊藤副委員長 「村松北」や「白方中央」の時もアンケートの結果は「村松〇丁目」だったのではないのか。村松も広く、その一部が実施地区で紛らわしかったから、わざわざ「北」や「中央」を付けている。村松だって、白方だって町名は短い方がよかっただろう。

今回もアンケートをとった後に、何か問題がありそうで、紛らわしいから駄目だとなったから、「新」でも付けようとなったのではないか。そう解釈している。

澤畑課長 アンケートをやる前は、「舟石川一丁目・二丁目」は、法的には問題ない。ただ、道義的な問題がある。今まで実施した「舟石川駅西」や「舟石川駅東」から、いろいろな意見が出てくることが予想される。住居表示審議会の議事録は村の公式ホームページに載っているが、今度「舟石川一丁目・二丁目」にするのであれば、『今の「舟石川駅西」も当然修正するのか。そうしないとおかしいだろう』という「舟石川駅西」の住民から意見があった。そういう影響があることも踏まえて『本当に「舟石川一丁目・二丁目」いいのか、もう一度考えてください』と申し上げている。その点を改めてもう一度理解して欲しい。

「村松北」の場合を例に挙げると「村松」と言えば昔の人は、村松虚空蔵尊のある「宿」の辺りを連想するだろうということで、審議会だけで決めるのは乱暴だから、実施地区の方々にアンケートを行い、その結果も踏まえて3回目の住居表示審議会において「村松北」という答申を出している。

近藤委員 前回の審議会は、皆「舟石川一丁目・二丁目」がいいとなったのに、最後に締めたときに、「新」を聞いてきてもう一回やろうと事務局で提案してきたから、このような混乱を招いてしまった。

澤畑課長 私は、「新」とは言っていない。伊藤さんに「新」の提案を出していただき、その後、皆さんで議論して揉んだのではないか。

伊藤副委員長 一番役場に文句を言いたいのは、アンケートをとる時に「舟石川一丁目・二丁目」を候補にってしまったことだ。

それと、私と近藤委員との聞き方の違いだろうが、私は、『「舟石川一丁目・二丁目」では問題があるから駄目みたいだ』という説明をしてから周りの人に聞いてみた。

近藤委員 私もそういう話はしている。何故「新」が出てくるのかという話になっている。

伊藤副委員長 道義的に「舟石川一丁目・二丁目」を使うことは好ましくないから、新しい名前がないかということで、たまたま「新」を提案した。委員の皆様方にはいろいろ案を出して欲し

かった。

寺門委員長 確かに案は、出なかった。

近藤委員 出てこなかったが、「舟石川一丁目・二丁目」がい良いとなったのだから、これでいいではないか。

伊藤副委員長 今の「舟石川駅東」や「舟石川駅西」になった時も、名称が短い方が良かったとなったのに、当時の審議会のメンバーの中で、強く抵抗した方はいなかったのか。

近藤委員 前日も今回も同じような問題が生じている。「舟石川駅西」に住んでいる方は、皆『「駅西」に住んでいる』と言っており、『「舟石川駅西」に住んでいる』等という人は誰もいない。

伊藤副委員長 改めて言うが、「舟石川一丁目・二丁目」に決めたとなると、道義的に不平・不満が出てくるから考えなくてはならない。

近藤委員 「舟石川一丁目・二丁目」とした場合、「舟石川駅東・舟石川駅西」になった人たちがどう思うかなとは、当然気にしているが、皆が「舟石川一丁目・二丁目」がいいと思っているのだから、そこは乗り越えたのではないかと私は思っている。

加藤委員 舟石川コミセンの辺りにかなり家が建ってきて、これから区画整理が広がる可能性があるのであれば、揉めない名称をつけておいた方が良いという意見もあった。

今までの経緯も分かるが、その都度会議に出ている人が違うのだから、その時の意見を取り入れて良いのではという意見を言う人もいた。同じ年代や若い人たちに聞いたからこういう意見だったが、年配の方は、住所が変わるのは覚えられないし、全く違う名前になるとつらいという考えもあるようだ。

寺門委員長 その他、意見はあるか。

伊藤副委員長 圧倒的に多いアンケートの意見の「舟石川一丁目・二丁目」を却下するとなると、かなりの説明をしないと納得してもらえない。駄目な理由をはっきりしないと結局皆に何故駄目なのか聞かれる。それを整理して住民に説明できないと、「舟石川一丁目・二丁目」にせざるを得なくなってしまう。

澤畑課長 「新」を付ける・付けないの問題ではなくて、「舟石川一丁目・二丁目」にすることによって、どういう問題があるのかを具体的にしなければならないということか。

伊藤副委員長 住民にわかるように説明出来なければならない。「舟石川駅西」と「舟石川駅東」にお住まいの方々にも話をしないと駄目なのではないか。課長の話にもあったように、自分（「舟石川駅西」と「舟石川駅東」の人）たちも変わるのかという意見も多ければ、それもまた問題だ。

澤畑課長 今までの経緯を踏まえてやるなら、そういう道義的な問題もある。近藤さんが言っているのは、新しい名前を付ける云々の前に、なぜ「舟石川一丁目・二丁目」では駄目かという理由がなければ、次に進まないだろうということか。

近藤委員 その通りだ。前回の会議から何度も言っている。前回議論した結果、「舟石川一丁目・二丁目」が駄目だという決定的な理由がなかった。郵便局も駄目だと言っていない。それでも、まだ駄目な理由を探すのか。

澤畑課長 前回、アンケートの結果で少なかった「大山台一丁目・二丁目」と「舟石川駅西五丁目・

六丁目」の2つは外した。そこまでは問題ない。一番多かった「舟石川一丁目・二丁目」を使うかという話になり、法的には問題ないが、道義的な問題があるから、いろいろな問題が出てくる。本当にそれでいいのかという話をした。

近藤委員 委員のうち7名が「新舟石川一丁目・二丁目」は駄目だといっているのに、どうやってこれを収めるのか。何故、いつまでもこだわっているのか。

寺門委員長 ここまでの議論をまとめると皆さんの基本的な考え方としては、「舟石川」という言葉は残したいという意見でいいか。

全委員 そうだ。

岩崎委員 「舟石川」は残すべきだ。

寺門委員長 「舟石川」そのものを残したいのであれば、「新」をつけるかつけないかということだけで検討してはどうか。

伊藤副委員長 繰り返しになるが何故、「舟石川一丁目・二丁目」は駄目なのかがはっきりしない。

寺門委員長 同じ「舟石川」のため、わかりにくく、はっきりしないということだからだ。

小林委員 駄目だという意見よりは、東海村住居表示整備実施基準に、「村内で同一の名称又はまぎらわしい類似の名称が生じないようにする」というのがある。おそらくこれが、事務局で駄目だと言っている理由の根底だと思う。だから「舟石川駅西、舟石川駅東」の時も、「舟石川」に「駅西、駅東」を付けたと思う。

アンケートに「舟石川一丁目・二丁目」が候補に出たから、いいのかなとも思って話が進んだのだと私自身はそう理解していた。

寺門委員長 今更新しい名称を提案することは出来ないだろう。「舟石川」という言葉を残すしかないか。

小林委員 類似の名称は駄目だから「新舟石川」という案が出たが、「新舟石川」はいまいちピンとこないのと、あまり支持されないのであれば、他に新しい名称を考えるか、もしくは「舟石川一丁目・二丁目」で押し通すかどちらかしかないと思う。

伊藤副委員長 駄目だという理由をここで議論しない限り、落ち着かない。

小林委員 なかなか「舟石川」に一文字付けるのは難しい。

松尾委員 この間の会議で「舟石川中（なか）」も出たが、「舟石川中（なか）」なら「新」の方がいいとなったのではなかったか。「舟石川駅西」を決める時も舟石川駅はないから揉めた。しかし、どうしても「舟石川」を残したいということだった。村では駅から近いところから住所を決めていくという決まりがある。私自身は、揉めた経緯を知っているから、あの辺（第6次地区）を何故一丁目にするのかというのもある。

澤畑課長 「舟石川中（なか）」は、舟石川駅東に「中丸」があるので紛らわしいし、誤解が生じるだろう。

伊藤副委員長 「舟石川」は広い。駅の反対側にも舟石川三区があるし、国道6号の西側にもある。

寺門委員長 ただ「舟石川」というと、どこの「舟石川」かわからない。私の住所周辺は舟石川〇〇〇番地で、3桁の番号が付いているところが多い。「舟石川」を活かすのであれば、3桁の番号とそうでないので区別するしかない。「新」と付いていれば区画整理されたところだと頭に浮かぶので「新舟石川」はいい名前だと思った。

△の人は4名いるが、どちらに決まってもいいということか。「新舟石川」が良い人は委員の中では、2名しかいない。

澤畑課長 正しくは、「新舟石川」が駄目というよりは、「舟石川一丁目・二丁目」にしたいということか。

伊藤副委員長 そういうことだ。問題なければ、「舟石川一丁目・二丁目」の方が良い。道義的に駄目だということから提案した。

寺門委員長 紛らわしいというのもある。

木村委員 郵便局はひたちなか市石川町の事例があるが混乱していることもないし、郵便番号が付くから、問題ない。

伊藤副委員長 字も2文字も減るし、「舟石川駅西」と書かなくて良いし、書きやすい。短いから、私も「舟石川一丁目・二丁目」がいいと思うが、「舟石川駅西」や「舟石川駅東」に住んでいる方がいろいろ言うてくるだろう。

岩崎委員 マラソン道路の海側といえば、別に問題ないと思う。

澤畑課長 そこに、住んでいる人たちは問題ないと思う。しかし、「舟石川駅西」や「舟石川駅東」の住民の感情や、ホームページを見て「舟石川一区や二区も見直してくれるのだろう」という意見が出るのがあったのが、一番危惧するところだ。

近藤委員 そこは、事務局で説明してほしい。委員会として決めたものに、したがっていくのがこの委員会の主旨ではないのか。先程も言ったが、道義的なことは乗り越えたと思っている。

澤畑課長 この答申を受けるかどうかは、村の庁議や議会の問題もある。振り出しに戻ってしまうこともある。混乱が予想されるのに、議会で乗り越えられるか。「舟石川一丁目・二丁目」を押し通すのは、正直厳しいと思う。

近藤委員 そこは、事務局で頑張ってください。「委員会としての意見はこれです」という答申を尊重してもらわないと困る。委員会の主旨はそれだろう。

寺門委員長 その他意見はあるか。最終的には賛否をとらなくてはならない。もっと意見が出たほうが良い。

伊藤副委員長 道義的な理由と決定的に駄目な理由がなければ、皆「舟石川一丁目・二丁目」でいきたい。

寺門委員長 「舟石川一丁目・二丁目」がいいということか。

苦しいだろうが、何とか、議会は通してもらわなければならない。

住民の意見を尊重してもらわないと困る。

澤畑課長 その通りだが、住民はそこに住んでいる人だけではない。それ以外の人もいるわけだから、どちらも尊重しなければならない。

近藤委員 前回私は、住んでいる人の意見を尊重するのか、外からみてわかりやすくするのか、中の人の意見を尊重してほしいと言ったので、「舟石川一丁目・二丁目」でいきたい。

佐藤委員 確かに住んでいる人の意見を尊重するのは最もだが、全体の中に自分たちが存在しているのがどうなのかを考えていただくのが一番かなと思う。

豊嶋係長 全体的に見ると、「村松北」や、「白方中央」の人たちも皆、自分たちも「村松」だけが良かったとか「白方」だけが良かったと言ってくる。現にそういう意見もあるので、全体

的にそういう意見が第1次地区から第5次地区に飛び火しなければ良いのだが。事務局としての不安材料はそこだ。

岩崎委員 他地区の人たちは、それに納得してやったので、それでいいのではないか。

澤畑課長 皆さんの意見としては、「村松」や「白方」や「舟石川駅東」や「舟石川駅西」の人たち等の混乱が生じる恐れもあることは分かるが、「舟石川一丁目・二丁目」でないと駄目なのか。それしかないということか。委員会として、全村的に問題が波及する恐れがあるということを確認しながら、どうしても「舟石川一丁目・二丁目」を付けるという理由はどうか。

近藤委員 そういうことを言うと委員会の意味がなくなる。「舟石川一丁目・二丁目」でないと駄目な理由を作るとのことか。「舟石川駅西」が長いから書くのが嫌だというのが一番最初の発想だ。「村松北」や「白方中央」になった時のように過去に問題があったから、注意してくれとか、最初から「舟石川一丁目・二丁目」は駄目だと言ってくればよかった。今になってあれも駄目、これも駄目というのは、本末転倒だ。

澤畑課長 その通りだ。アンケートをとる時点で、「舟石川一丁目・二丁目」は駄目だと、はっきり言えば良かった。そこは、事務局の大きなミスだ。ただ、法的には問題なかったが、道義的な問題があった。「法的には問題ないのか」と言われると、問題はないので、絶対に駄目だとは言えなかった。

近藤委員 前回のNo.2の資料を見ても、なぜ「舟石川一丁目・二丁目」が駄目なのかと思う。

佐藤委員 「舟石川駅西」で、「舟石川」を独占できないからだ。

近藤委員 皆で決めて「舟石川一丁目・二丁目」になっただろう。

住居表示審議会がなければ、私も「舟石川駅西五丁目・六丁目」になるものだと思っていた。せっかく審議会をやるのだから、住所は、「舟石川駅西」は長いから嫌だという発想で、皆で決めて「舟石川一丁目・二丁目」がいいとなった。今、ここで元に戻ったら何の為にやっているかわからない。

寺門委員長 紛らわしいのが一番困る。

伊藤副委員長 村松地区の時に、北を付けた経緯は、周りに「村松」があつて、村松の中でも北部だから、「村松北」になった。以前から委員を務めていた方に伺うが、当時はそのような状況下から「村松北」になったということでもいいのか。

松尾委員 そのような話は出た。虚空蔵尊の辺りが村松の中心と考え、村松の中の真崎地区だったので、「真崎」にした方が良いという意見や、「北」をつけるのは嫌だという意見が出たが、委員で皆で揉んで、納得していただいて「村松北」を付けた経緯があった。

伊藤副委員長 「東海」も「豊白」も同じ名称（大字名）が近隣にない。もし「舟石川一丁目・二丁目」にしたら議会で何でこうなったのか、何故、この中で通したのかと言われると思う。

澤畑課長 議会はもちろんだが、議会の前に「舟石川駅東」や、「舟石川駅西」の住民への説明も必要だ。

豊嶋係長 住民に説明責任もあるので、筋に立って説明できれば良いのだが。

近藤委員 アンケートで、一番多かったのだから問題ないだろう。

澤畑課長 住民の皆さんは、議事録もアンケートの結果も全てホームページに載っているの、議

事録で変わって来た経緯も見ている。アンケートで3つの案を出した。違う名前になったのは、他の地区の全村的な懸念があったからだ。それをもとに再度話し合いをしたというのも分かる。

他の地区への懸念事項があっても、住んでいる人たちは「舟石川一丁目・二丁目」でいいという意見が多数を占めているのだからそのまま突き進むということで良いか。他の皆さんはどうか。

加藤委員 なぜ以前の審議会の人たちは納得したのか。

佐藤委員 全体のことを考えてくれたから。

加藤委員 以前のその時に頑張ってくれれば、「村松」とか馴染みの名称に決まっていたかもしれないのに。

澤畑課長 村松は、「宿」や「押延」も全部村松で混乱が生じる。

加藤委員 〇丁目がつくことで、まったく違う住所に感じるのに。

松尾委員 長い歴史の中で、「村松一丁目」とした地区が村松の中心地だと思ってくれるだろうか。

近藤委員 一丁目をつけても、外れたところの人が、けしからんと思うのか。思わないと思う。不平不満が出るのは、仕方がない。

松尾委員 もともと『「舟石川〇丁目」が付けられたなら、自分たちの地区にも付けることが出来たのか』となると思う。

近藤委員 それはそうなると思うが、仕方がない。もし「舟石川駅西」や「舟石川駅東」の人たちが町名を変えてくれと役場に陳情に行った場合は、考えざるを得ないだろう。

澤畑課長 何度も言うが、「舟石川一丁目・二丁目」にすれば、懸案事項が出てくる。

近藤委員 今更懸案事項があるから、「舟石川一丁目・二丁目」が駄目だとはならないだろう。新しい町名を決めていいとなったから、審議会で議論してアンケートもとって、「舟石川一丁目・二丁目」になった。それでいいのではないか。

豊嶋係長 他の地区を決めた時の経緯は、それはそれということか。

澤畑課長 駅中心の地図を見ているから、「舟石川」でいいと思うのではないか。舟石川全体の地図だったら変わってくる。「村松北」と同じ話になると思う。

近藤委員 ならない。「舟石川一丁目」が住所だと言ったらわかるだろう。前の人たちが決めた町名は、公園の名が一致していない。都市計画公園の名称が丁目と不一致だ。

澤畑課長 3回目の審議会でもこの話をしている。話が戻っている。皆さんが言いたいのは、アンケートもとって一番多かったのだから「舟石川一丁目・二丁目」が良いということか。

近藤委員 「舟石川駅西」を決める時は、都市計画の公園に併せるという考えはなかったのか。区画整理の図面を尊重するのが一番良かったと思うが、図面は見なかったのか。

松尾委員 図面は見なかった。

豊嶋係長 町名をつける基準があり、町名は駅から近いところから順にふっていくという決まりがある。そうすると、区画整理の図面とは必ずしも一致しない部分がある。

澤畑課長 「舟石川一丁目・二丁目」は、法的には問題ない。全村的にやってきた今までの経緯もあり、道義的な部分の問題だ。それでも、「舟石川一丁目・二丁目」しか駄目だというのが、皆さんの意見か。


- 伊藤副委員長 一字でも減らしてくれという意見が圧倒的に多い。いかに短くするかが大事。道義的な問題だから、絶対に駄目だとは言いきれなくなっている。
- 豊嶋係長 これまでの区域の時は、そういった意向を酌んだ上で結論を出していただいた。
- 澤畑課長 時間が過ぎてしまったが、結論が出ないので、提案させてほしい。今回の会議は道義的な問題のことしか言っていない。前回と全く同じことをやっている。もう一度、道義的な問題があることを周りに言っただけでないか。
- 近藤委員 澤畑課長が言うように、前回と全く雰囲気は同じである。澤畑課長は、どうするのが一番納得がいくのか。
- 澤畑課長 「舟石川駅東」や「舟石川駅西」の人たちにも説明がつくようにしたい。「舟石川一丁目・二丁目」にすると「舟石川駅東」や「舟石川駅西」の人たちも駄目だと言って、舟石川に駅西や駅東を付けた。駅西や駅東を付けないことも出来るのであれば、「舟石川〇丁目」にしたのとなってしまうので、混乱させたくない。
- 近藤委員 委員が何故周りの意見を聞いてこななければならないのか。
- 松尾委員 こういう懸念があるということを豊嶋係長が毎回説明されていた。
- 近藤委員 私は、それを踏まえて発言している。何度も言うが、現在実施区域に住んでいる方々の思いを最優先に考えなければならない。
- 豊嶋係長 決めるにも前回の話をしないと進んでいかないので、その一環としてお話されたので、決して偏った意見ではないと思う。
- 寺門委員長 時間ばかり過ぎてしまうので、採決するか。ここで決まったことを事務局に頑張ってもらうしかない。
- 事務局 議会もそうだが、まず住民だ。住んでいる方の住民はもちろんだが、全体的なバランスはどうなのかということだ。もう一度、村の中で揉む。議会にかける前に庁議等で合意が得られなければ先に進めない。
- 伊藤副委員長 最終決断は誰がやるのか。
- 事務局 議会だ。
- 近藤委員 村議選の後だから、新しく議員になった人たちか。
- 事務局 改選後だからそういうことになる。
- 最終的に答申しないとならないが、今後の方向性について、正・副委員長と相談させてほしい。一番危惧しているのが、答申が駄目だとなった時に「住居表示審議会は何をしていたのか」となった時が一番心配である。そうならないように、事務局において本当に「舟石川一丁目・二丁目」でいいのか、もう一度調べたいので少し時間をいただきたい。その上で、もう一度審議会を開きたい。
- 寺門委員長 皆さん、それで良いか。
- 委員 承諾。
- 澤畑課長 事務局からひとつお願いしたいことがある。この審議会の会議録は村の公式ホームページにも公開している。活発に意見を交わすのはとても良いことだと思うが、その辺も踏まえて発言をしていただきたい。
- 寺門委員長 以上で、第4回住居表示審議会を終了する。第5回の審議会の日程は決まらないので、

また後日連絡する。お疲れ様でした。

閉会 (午後4時)

本審議会の議事の経過概要及びその結果を明確にするため、本議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人は、次のとおり署名押印する。

平成27年 12月18日

議長 (委員長) 寺門喜一郎 

議事録署名人 大塚 茂 

議事録署名人 石エイ子 

※委員長及び、議事録署名人の了承を得て、会議録一部修正。(平成27年12月18日)

同日、第5回住居表示審議会で報告済。